

平成29年度 和光市立白子小学校 第1回学校運営協議会 議事録

平成29年3月13日（月）
午前10時～午前11時20分
和光市立白子小学校 PTA 会議室

出席者 鳥飼 昭男委員、富澤 昭憲委員、牧 江利子委員、山田 智好委員、榎本 克実委員
金井 良浩委員、富澤 隆司委員、久保田砂苗委員、中村 哲委員、小澤紀代枝委員
西 貴美雄、渡邊 丈裕 （12名）

- 1 開会のことば（教頭 渡邊 丈裕）
- 2 学校長あいさつ（校長 西 貴美雄）
- 3 委嘱状交付
- 4 学校運営協議会規則について（校長 西 貴美雄）

5 会長・副会長の選出

会長として 富澤 昭憲 氏、副会長として 久保田砂苗 氏 を選出した。

6 協議（進行…会長）

(1) 学校長より平成29年度学校経営方針作成の基本的な考え方を示す

◇3年という期限が区切られているという話を聞いたが、途中経過については3年という中で、この点は達成できている、この点は未達だという報告は、私たちにどのぐらいの時期に発表するという考えでいるのか？

⇒今年度は前期と後期に学校評価を実施している。学校評価は目指す学校像にどの程度迫っているかを考える指標であると考えている。平成29年度も前期学校評価、後期学校評価を実施して、みなさんにご覧いただき進めていこうと考えている。

◇学校経営方針は校長が毎年示すものであろう。平成28年度の資料は既にいただいているが、平成28年度と29年度の違いについて伺いたい。比較をすると若干異なるところがあるので聞かせていただきたい。

⇒校長は着任するとその年の学校経営方針を示す。昨年着任した際、前年の学校評価をもとにして平成28年度の学校経営方針を作成した。子どもたちが学校生活を楽しみに登校し、下校する際は、「学校が楽しかった、明日も学校が楽しみだな。」という姿を求めたい。これが目指す学校像の「笑顔」につながる。次に、子どもたちの体力や学力に関する資料に目を通した。豊かな心の育成をも含めて学校で身につけさせる「力」の育成を目指した。子どもは、目標を立てて、それに向かって頑張る姿が大事であると考えている。たとえそれが、日々の小さな目標であっても、ひと月の目標であっても、将来の夢であっても、自身がどれぐらい頑張ったのか、どれぐらい達成できたのかを考えさせることが大事である。「夢」という言葉で示している。

本校は、140年以上の歴史と伝統ある学校である。地域の方々の支えも力強いものがある。ぜひ、地域の方々と一緒に子どもを育てていきたいと考えた。「地域とともにほぐくむ」という文言で示している。

この点が経営方針の根底となる考え方である。平成29年度も学校を経営する基本方針には変わりはない。細かい文言等については、この後説明させていただく。

(2) 学校経営方針について資料をもとに校長より説明

- ◇学校要覧等の資料は手元にあるが、ここまで読み込んだことは初めてのことだ。昨年との変更点について明確に説明されたので、学校が一年一年考えながら進めていることがわかり、嬉しく思った。
- ◇校長の経営方針を教職員が理解し、子どもたちの指導を進めていること考えると教員に対する見方が変わった。いつも子どもを通して教師を見ているが、校長の目線で考えると大変細やかに子どもたちのことを考えていると改めて思った。
- ◇学校経営方針は範囲が広すぎて、短時間では十分に理解できないところもある。学校経営方針はある程度きちんと作成されていると思う。むしろ、今後の運営協議会の協議でどのような意見交換ができるものなのかと考えた。出発したばかりの会議なので、経営方針を理解しながら、振り返りをしたり、積み上げをしたりしながら、3年というスパンを考えながら勉強していきたい。
- ◇資料には前年度との比較が明確に示されているので、わかりやすい。経営方針に従って学校がどのように運営されていくのか見守りながら、協議会の運営も考えていきたい。
- ◇資料については心配りができているといえる。これから会議を重ねることで勉強していきたいと考えている。
- ◇正にアクティブラーニングだ。われわれが経営方針をどのように落とし込んでいくか、横断的なこの資料について勉強していくのは大変だ。
- ◇今日、初めてこの資料を見た。校長の説明を受けて、納得はしたが、できれば事前に目を通しておきたかったというのが率直な思いだ。感じたことや疑問に思ったことを運営協議会で議論したかった。説明を受けて承認するという会議だと思うが、基本理念などはすばらしい内容だと思うが、だからこそもう少し時間をかけて精査したかった。
- ◇校長の多くの思いが経営方針に込められていることがわかった。今後は、教職員がどのように理解して、具現化していく道筋が見えてこなければいけない。子どもたちがどのように指導を受けていくのかを見せていただきたい。また、子どもたちがどのように受けて止めているのかということも考えていってほしい。経営方針を一年間子どもたちに対して、保護者に対して理解を求めて実践していく具体的な方策が重要である。子ども達ともっとふれ合う教員集団を目指してほしい。それを支えて一丸となっていくのが本会の意義でもあろう。私も協力していきたい。

(委員の皆様の承認をいただいた。)

7 今後の学校運営協議会の取組について

平成29年度の学校行事の年5回の会議日程を提案し、了承された。

- ◇協議会の所掌事務の中に学校経営方針の承認がある。この内容は今回行ったが、このほかにも役割はいくつかある。例えば、学校運営について校長や教育委員会に意見を出す、あるいは教職員の任用について意見を出すという内容は年間計画の中で反映されているのか。

⇒教職員の任用については第4回頃が適当であろうと考えている。教育委員会への意見の申出は、協議

の中で該当するものが出されれば考えていきたい。

◇予算はどのようになっているのか。

事務局より説明を行う

⇒人事についてみなさまにご意見をいただく内容は「任用」についての部分となる。学校全体の教育活動をいっそう推進していくためのご提言として教育委員会として考えていただきたい。

⇒予算については、要望した額の三分の一が国、三分の一が県より措置される。具体的には印刷代や紙代などの事務費である。コミュニティスクールに指定されたことが地域のみなさんにわかるように横断幕も作成する予定である。委員のみなさまの謝金も含まれている。

◇地域の自治会との連携を深める際に、世帯収入と学力の関係や不登校、いじめ、格差の固定化等について自治会の立場として考えていったらよいのか。

⇒大事な視点であるが、情報共有や対象家庭に学校運営協議会としてアプローチしていくのかという点は慎重に検討していきたい。

8 連 絡

(1) 市教委より

- ・地域と子ども達、学校がそれぞれ単一の存在となってきた。三者の連携を図ってほしい。
- ・学校が協力をお願いすることもあるが、逆の場合も考えられる。よりよい関係を築いてほしい。成果と課題を踏まえ、次年度以降順次市内各学校での取組を進めていく。

(2) 学校より

- ・卒業証書授与式での来賓紹介では現職名とさせていただく。

9 閉会のあいさつ（久保田副会長）